

愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは病理診断を受けた患者さんのご家族へ

愛知医科大学加齢医科学研究所では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	ヒトシヌクレイノパチー脳試料を用いた シヌクレイン毒性発現機構の解析
研究機関名及び研究機関の長	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	加齢医科学研究所 特命研究教授 吉田眞理
試料・情報の利用目的及び利用方法	〔利用目的〕①シヌクレイノパチー脳変性部位における病理学的変化について、近年開発された新規手法を用いて免疫組織化学的に解析するとともに、②シヌクレイノパチー脳由来 シヌクレイン凝集体の細胞やマウスへの投与実験を通してヒト シヌクレインの毒性発現機構を解析する。 〔対象となる患者さん〕愛知医科大学加齢医科学研究所でシヌクレイノパチー(パーキンソン病)および非神経疾患と神経病理学的診断を受けた患者さん。 〔研究期間〕研究実施承認日 ~ 2027年3月31日 〔利用方法〕脳の病理組織(パラフィン包埋切片)の免疫組織化学を用いて、シヌクレイン凝集体の解析を行う。資料は閲覧することが可能ですので、希望する場合には下記問い合わせ先にご連絡ください。 〔外部提供先及び提供方法〕東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 提供方法 郵送
利用又は提供する試料・情報の項目	試料：脳の病理組織(パラフィン包埋切片) 情報：臨床情報、病理診断等
試料・情報の提供を行う機関・長	東京大学大学院医学系研究科・医学部長 岡部繁男
提供する試料・情報の取得の方法	愛知医科大学加齢医科学研究所ブレインリソースセンターに保存されている病理組織(パラフィン包埋切片)および臨床情報と病理診断等
共同研究機関名・研究責任者名	東京大学大学院医学系研究科 神経病理学分野 研究責任者 桑原 知樹
利用する者の範囲	同上
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2026年3月31日までに電話または郵送により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学医学部加齢医科学研究所 担当者：特命研究教授 吉田眞理 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線

	12091)
--	---------